

令和7年度第1回 我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会 議事録

開催日時 令和7年5月15日(木) 午後2時から午後3時30分

開催場所 我孫子市役所 議会棟A・B会議室

出席者 佐藤 昭宏、田中 治、仲村 信慶、小野 武弘、白水 晃子、松山 光貴、
鈴木 友維、寺山 加恵、関 俊昭、小森 梓、笠原 のり子、大野 令子、
星 良子、鉄谷 舞子

地域医療コーディネーター：1名 松宮 泉

国保年金課：1名 田胡主任

事務局：10名 健康福祉部：飯田部長 高齢者支援課 長島課長、三井主幹、茅
野課長補佐、楠美係長、石川係長 廣瀬総括主査、鈴木主査、岡野主任

傍聴者：なし

司会：我孫子市薬剤師会 小野 武弘

【議 題】

1. 健康福祉部長あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 委員紹介
4. 令和6年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告

(1) 協議会(年2回)

第1回 令和6年5月16日(木) 午後6時30分から午後7時45分

出席者：委員11名、国保年金課3名、事務局10名、コーディネーター1名
傍聴者0名

議 題：令和6年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
令和7年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画

第2回 令和6年11月21日(木) 午後6時30分から午後8時00分

出席者：委員12名、国保年金課2名、事務局7名、コーディネーター1名
傍聴者1名

議 題：専門部会からの報告、普及・啓発について、あびこねの取り組みについて
国保年金課より

(2) 専門部会

第1回 令和6年5月20日(月) 午前10時から午前11時30分

(湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室)

出席者：12名

議 題：協議会での決定事項の確認、令和6年度の活動内容について

役割分担について

第2回 令和6年7月17日（水）午後1時30分から午後2時30分
（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：12名

議 題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項

第3回 令和6年9月10日（火）午後1時30分から午後2時30分
（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：10名

議 題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項

第4回 令和6年11月12日（火）午後1時30分から午後2時30分
（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：10名

議 題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項

第5回 令和7年2月4日（火）午後3時00分から午後4時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：12名

議 題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項

第6回 令和7年3月19日（水）午後1時30分から午後2時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：11名

議 題：市民向け講演会の振り返り、令和6年度の振り返り
令和7年度の取り組みについて

(3) 広報あびこ

第25回（令和6年6月16日号）在宅医療と介護の連携（介護サービス事業者連絡会：
管理栄養士）～食べる楽しみの支援 管理栄養士に相談し在宅生活を継続で
きたケース～

第26回（令和6年9月16日号）在宅医療と介護の連携（歯科医師会）
～訪問歯科診療の活用～

第27回（令和7年1月16日号）在宅医療と介護の連携（薬剤師会）

～在宅訪問薬剤師と多職種連携～

※広報あびこへの連載は、今年度で終了。

(4) 市民講演会

令和6年度 我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会 市民講演会

日時：令和7年2月11日（火・祝）午後2時から午後4時30分

場所：会場及びオンライン（千葉県福祉ふれあいプラザ 2階ふれあいホール）

参加人数：126名（うち会場97名、オンライン29名）

【第1部】講演 午後2時から午後3時

講演：人生会議の功罪～もしバナゲームの視座から～

講師：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 在宅診療科部長 地域医療支援部部長 兼務
一般社団法人 iACP 理事 大川 薫 氏

（第2部）もしバナゲーム体験・座談会 午後3時10分から4時30分

(5) 多職種交流会

日時：令和6年11月7日（木）午後6時30分から午後8時

場所：オンライン

参加人数：77名（事務局除く）

テーマ：「おひとりさま」について

(6) ハンズオンセミナー

第1回 日時：令和6年12月18日（水）午後6時から午後7時30分

場所：湖北地区公民館「コホミン」第1学習室

参加人数：28名

第2回 日時：令和7年1月21日（火）午後6時から午後7時30分

場所：我孫子市生涯学習センター「アビスタ」ホール

参加人数：25名

(7) ○○先生に会いたい企画

第1回 佐藤先生に会いたい企画

日時：令和6年11月26日（火）午後0時40分から午後1時30分

場所：佐藤内科医院待合室

参加者：ケアマネジャー6名

第2回 菅森先生に会いたい企画

日時：令和7年3月12日（水）午後0時40分から午後1時30分

場所：すがもり整形外科

参加者：ケアマネジャー5名

(8)その他

エンディングノート・終活べんり帳の配布 協定締結先：株式会社 鎌倉新書

令和6年度在宅医療・介護連携推進事業（コーディネーター委託事業）活動報告

(1)活動実績

・相談件数：91件

内訳：医療機関11件 包括31件 介護支援専門員18件

その他（市職員 市民等）31件

内容（例）：①アウトリーチ※で対応した市民の退院後の医療機関選定

②難病の療養方針について担当者会議でのコンサルテーション

③包括から遠方の医療機関との連携について

④市民から内服薬の服薬タイミングや主治医への相談方法

手段：電話 メール 訪問同行 まちの保健室での対面

アウトリーチ：主治医のいない市民の主治医意見書作成のための医師の訪問調整

・研修

①もしバナゲーム 16回

②ハンズオンセミナー 2回

③〇〇先生に会いたい！ 2回

④専門職団体からの依頼 1回

⑤その他 第6回在宅医療連合学会発表、コミュニティコーピングゲームでの研修、
感染クラスター8を用いての研修

・訪問

件数：8件

内訳：包括と同行訪問2件 病院への訪問4件 担当者会議オブザーバー参加1件

アウトリーチ同行1件

・アウトリーチ

依頼件数7件（うち実施6件。1件は継続的な訪問診療医療機関を調整）

・まちの保健室（個別相談窓口として。単独実施ではなく他機関多職種協力型として）

開催回数 18 回 来場者数 168 名 相談者数 31 名

(2) 評価

昨年度よりいずれも対応件数は増加しているが、課題が高齢者単独というより重複課題となっており、介入→解決とならないケースが増えている。

専門職種への研修は回数も、参加者も少ないと考える。市民向け啓発については、一部の市民への周知がなされてきている感触はあるが、まだまだ少なくまた行動変容の機会とはなっていない。

次年度以降について、実施内容の深化をすると共に国の施策に合わせ PDCA サイクルに沿った事業展開を行う必要がある。

5. 令和 7 年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動について

(1) 協議会が目指すもの

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供し、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を推進するために、地域の実情を把握・分析したうえで、住民や地域の医療・介護関係者と地域のめざすべき姿等を共有し、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携の推進を目指す。

(2) 令和 7 年度の方向性

住民が自分の今後の生活について選択することができるよう、高齢者本人及び家族、専門職が考える機会を提供していく。

在宅での看取りに限らず、本人や家族が納得できる最期を迎えるための相談支援体制の構築を目指す。

地域の実情に応じた在宅医療と介護の連携体制の構築と充実を図る。

(3) 令和 7 年度の活動計画

・在宅医療・介護連携の推進

①協議会開催（年 2 回開催予定）

現状分析、課題抽出、施策立案について協議を行い、PDCA サイクルに沿った取り組みを推進する。

第 1 回 令和 7 年 5 月 1 5 日（木）対面開催

第 2 回 令和 7 年 1 1 月 2 0 日（木）対面開催

②専門部会の開催（年 7 回、天王台地区高齢者なんでも相談室にて開催予定）

第 1 回 令和 7 年 4 月 2 3 日（水）

第 2 回 令和 7 年 5 月 2 1 日（水）

- 第3回 令和7年 7月15日(水)
- 第4回 令和7年 9月10日(水)
- 第5回 令和7年11月12日(水)
- 第6回 令和8年 2月12日(木)
- 第7回 令和8年 3月18日(水)

③「あびこ・ケアリンク」の利用推進
情報の共有・連携を図る手段である「あびこ・ケアリンク」の利用を推進する。

・在宅医療・介護連携に必要な知識の向上

①多職種交流会の開催

在宅医療に関わる専門職の必要な知識の向上と、在宅医療・介護の支援効果を最大化させるために多職種連携のための交流会を開催する。

在宅医療・介護関係者の多職種が、共通の課題や状況を理解し、支援に必要な知識の向上を目指すとともに、顔の見える関係から信頼関係を深めることを目的とする。

令和7年11月6日(木) 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」にて開催予定。

②〇〇先生に会いたい企画：地域医療コーディネーター主催

年2回開催予定、医師未定

③ハンズオンセミナー：地域医療コーディネーター主催

年2回開催予定、内容未定

令和7年12月11日(木) 湖北地区公民館「コホミン」にて開催予定

令和8年1月21日(水) 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」にて開催予定

市民への在宅医療・介護の普及啓発

①普及

「広報あびこ」へ特集号の掲載

令和7年11月1日号トップページで掲載予定

在宅医療・介護に関する市民向け講演会の開催

令和8年2月19日(木) 湖北地区公民館「コホミン」ホールにて開催予定

我孫子市ホームページの見直し

在宅医療・介護に関する情報を我孫子市ホームページ上に掲載予定。

在宅療養ハンドブック

本市における在宅医療・介護連携推進事業の在り方を踏まえた改訂作業を行う。

②啓発 ～4つの場面を意識した意思決定支援～

人生会議（ACP）推進、もしバナカードゲームの体験会等の実施

「我孫子市エンディングノート」、「終活べんり帳」の配布

もしバナカードゲームの体験会の開催や市民への貸し出し等を実施していく。

(4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業のハイリスクアプローチとして、KDBシステムを活用して、過去2年間健診・医療・介護の利用のない方（健康状態不明者）を抽出し、健康状態の把握と、必要時、健診・医療・介護サービスの利用勧奨など必要なサービス・支援につなげる取組みを実施する。

また、ポピュレーションアプローチとしては、出前講座や強化型きらめきデイサービスなどの通いの場やスーパーにおいて、フレイル予防の健康教育や健康相談等を実施し、これまで関わりのなかった高齢者の健康状態の把握に努めるとともに、必要時、健診・医療・介護サービスの利用勧奨などを実施している。

ハイリスク者への取組みでは、かかりつけ医や医師会等との連携が必須となっていますので、活動の中で三師会の先生方に情報の連絡やご助言等をいただくことがある。

KDBシステムは、今年度から、日常生活圏域ごとのデータ集計ができるようになり、今後の活動に生かしていく予定。

令和7年度 地域医療コーディネーター 事業計画

【目標】

地域医療コーディネーター事業を通して、市民が望む暮らしが心身の状態が変化しても継続できると実感できる地域となる。

行動計画

①〇〇先生に会いたい！

(内容)

個人医院の医師とは患者を通してまたは、書面のやり取りでのコミュニケーションが多く介護関係者との連絡調整は互いに難しいと感じる場面が散見されている。そこで、医師の休憩時間や診療終了後などのクリニックの待合室や診察で、関係者が集まりサロンの対話集会を行う事で、顔の見える関係作りをより密接に行う機会を得る。

②相談支援

包括や居宅などと病院間の相談、調整支援を行う。包括へ出向き相談業務（職員からの相談）を実施する。また、月2回開催のまちの保健室や市内で行われるカフェ方式での集会等地域で行われる場所で、医療・介護の横断した相談にあたる機会を作るとともに、地域課題、ニーズの抽出を行う。

③アウトリーチ調整

主治医のいない（未受診、受診拒否等）の市民の介護保険申請に必要な主治医意見書作成のための訪問の調整および同行訪問。

④ハンズオンセミナー

在宅医療機器を実際に見て、使用方法などについて聞くとともに、医療専門職の講義を聞く事で、在宅医療への苦手意識を軽減し、支援につなげるための学習機会の場の提供や情報共有の場を作っていく。2回開催、内容未定。

令和7年12月11日（木）湖北地区公民館「コホミン」にて開催予定。

令和8年1月21日（水）我孫子市生涯学習センター「アビスタ」にて開催予定。

⑤その他、研修企画・依頼

昨年度からの継続で、市民がACPを考えられる支援のためのもしバナゲームや、感染対策に対する研修の実施・企画を行う。

⑥市民講演会

内容未定。令和8年2月19日（木）湖北地区公民館「コホミン」にて開催予定。

6. 令和8年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会計画について協議

各場面の4つのテーマに沿って、個別課題から地域課題を抽出し、取り組みたい具体的テーマを選択し、目指す姿を検討する。

各場面の4つのテーマ：①看取りについて②入退院について③急変時対応について④日常療養について

次回協議会までに、目指すべき姿になっていないと原因を各委員考え、それをもとに次回協議会にて、令和8年度の地域のあるべき姿や目標・対応策・評価方法（指標・目標値等）を具体化する予定。

7. その他

在宅医療・介護連携推進協議会会長から

令和8年度の協議会開催回数について、計画、実行、評価、改善をしていくことを考える

と、現状の年2回では行えないため、協議会開催数を年3回にする提案あり。

(委員承認)

国保年金課から

国保年金課保健担当では、特定健診や糖尿病性腎症重症化予防プログラム、生活習慣病受診勧奨、重複多剤服薬指導事業を実施。中でも、重複多剤服薬指導事業については、今まで、国保年金課には医療専門職がいないことから訪問指導の実施体制がなかなか整わない、多剤投与を対象者にしていないという課題があった。今年度から医師会、薬剤師会に協力をいただき、新たに訪問指導や重複服薬だけでなく多剤投与についての保健指導を始める予定。訪問指導を医師会へ委託し、指導内容のアドバイスを薬剤師会会員薬局からいただくという流れを想定している。

多剤投与の現状は、「9剤以上処方されている場合に、必ずしも必要のない医薬品が処方されている可能性が高くなる」となっており、今年度の2月時点で同一薬剤に関する処方日数が9剤以上60日以上の方が国保の被保険者数23,793人中368人該当し、そのうち65歳以上が223人、さらにそのうち70歳以上が156人該当しており、高齢者が非常に多い現状である。

高齢者が多い一方で40歳未満の比較的若い世代も少なからず存在し、うつ病、統合失調症の方がその傾向にある。

服薬指導を通しての健康課題解決に加え、重複服薬、多剤投与を紐解くと医療だけでは解決できないことも見える。在宅医療の基幹を担い、地域を熟知する我孫子医師会に委託することで、重層支援に結び付け被保険者の日常生活がより良くなればと考えている。

事務局から次回の協議会について連絡

第2回我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会は、令和7年11月20日(木)午後2時からを予定。